

タイトル 経理部門における給与計算自動化の取組

リモート
アクセス

申請事業者：株式会社ふれあいケアセンター（宮崎市）
業種：介護福祉業

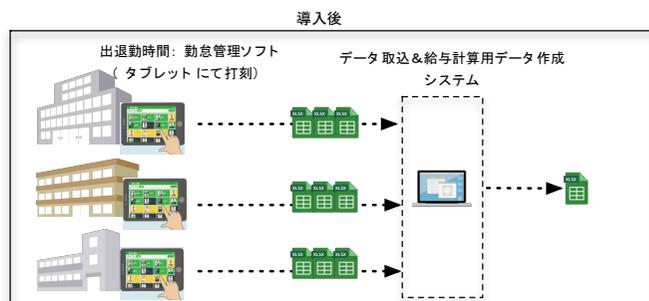
コンサル事業者：株式会社ポップミックス（宮崎市）
業種：情報サービス・情報通信業



ポイント 勤怠管理ソフトと給与計算自動化取りこみシステムの導入により、テレワークを実現！

取組の概要

導入部門：経理部門（3名体制）
導入業務：勤怠管理・給与計算部門（3名体制）
目的：手作業業務削減及び出勤率の抑制
ツール：「勤怠管理ソフト「ぱぱっと勤怠」及び「給与連絡表作成支援システム」
手法：勤怠管理・給与情報転記の自動化
規模：33件/月、3名体制の業務
導入費用：976千円（ソフトウェア 660千円 機器 116千円：コンサル 200千円）



取組の背景

- ・新型コロナウイルスの影響下、テレワーク率を上げたい。
- ・経理部門では毎月の給与計算時に、事務所への出社が必須である。
- ・出退勤情報は手書きのため、データ化に時間がかかる上に、間違いが起きるリスクも抱えている。

- ・通常はタブレットによる勤怠打刻であるが、スマホからも打刻ができるので、テレワーク時の出退勤管理も容易に可能となる。
- ・データを取り込んで、一つにまとめたデータになることで、事業所へ出社しなくても、オンライン上で仕事が可能となる。
- ・データ転記時の間違いがなくなる。

取組の成果

- ・これまで、事務経理業務には3名が関わっていた。今回のシステム導入で、必要な全ての電子データを取り込むこととしていたが、取り込みデータの一部が外部より紙でのみ提供されており、電子データでの提供はできないとの返答があった。そのため、その受け取りとチェックに1名は出社しなければならないが、残り2名はリモートにて業務が行えるようになった。また、転記作業や転記時のミスは、毎回チェックに5日かかっていたものが、3.5日に短縮された。
- ・有給残について職員から問合せや確認が多かったが、各々で確認ができるようになったことから、問合せゼロになりその時間を有効に使えた。